

議員氏名：根岸 ゆき子

議案番号：議案第21～25号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

令和8年度二宮町国民健康保険特別会計予算

令和8年度二宮町後期高齢者医療特別会計予算

令和8年度二宮町介護保険特別会計予算

令和8年度二宮町下水道事業会計予算

討論内容：

令和8年度予算の一般会計、特別会計、企業会計、全てに賛成として討論いたします。

町が出したスローガン「声をつなぎ 未来を創る 一緒に築く安心のまちへ」に対し、私も、こういったこと、見たい姿であるということで、こういったまちづくりに進んでほしいと望むものです。そのために必要な予算はちりばめられていると判断をいたします。

施政方針に書かれたスローガンの意味は、全ての世代の声を丁寧に拾い上げ、共に考え、共に汗をかきながら、新しい二宮町の歴史を切り開く、その先頭に立つ覚悟を新たに、予算案を提案するとあります。

これは予算確保だけで実現できるものではなく、人が力を発揮しあえる要素が多分に必要となります。人を大切にするプロセスに期待をしたいと思います。

さて、予算否決の話が舞い込んでおります。予算の編成権、提案権は、町長にのみ与えられ、議会は議決権を与えられているという、そういった制度の中で我々はやっております。

そういう制度の中での予算修正は、町村長の予算提案権を侵さない程度で増額修正もできる、と法律にあります。減額は一般的なんですけれども、否決に伴う増額修正の場合、どの程度まで検討ができるものなんでしょうか。町を崩すようなほどかじ取りに間違いがあるのならともかく、町民に迷惑となる予算のストップが出る事態は避けるべきです。

予算審査委員会、終わってからの短い期間、町民の方の反応は様々でした。冗談じゃないと怒る方、頑張っているのはいいよねという方、静観しておられる方。私は否決による影響を受ける町民の方々が、むなしいという思いにとらわれてほしくはありません。

予算再提案となるようならば、もし再提案となるようならば、その財源は僅か2,000万円しかない予備費からの対応で可能として、速やかに年度内成立に向けて動いていただきたいと、そこを強く要望いたします。以上です。